

平成 21 年度第 1 回公立大学法人会津大学経営審議会議事概要

- 1 日時 平成 21 年 6 月 25 日 (木) 13:10 ~ 14:25
- 2 場所 会津大学管理棟 3 階 大会議室
- 3 出席者
委員 8 名 : (学内委員) 角山理事長、ミレンコフ副理事長、黒田理事、牧田理事、菅野理事
(学外委員) 酒井委員、杉原委員、宮澤委員
事務局職員
- 4 議事録署名人 牧田委員、菅野委員
- 5 議事
議事に先立ち、新たに委員となられた宮澤委員の紹介を行い、理事長より宮澤委員に辞令を交付した。

< 議題 >

A 平成 20 年度業務実績報告書について

菅野理事から業務実績報告書について説明を行った。意見交換等を行った後、原案どおり役員会に提案することが了承された。

B 平成 20 年度決算について

菅野理事から平成 20 年度決算について説明を行った。以下の意見交換等を行った後、原案どおり役員会に提案することが了承された。

(意見等)

- リース切れを更新するなど節約をしているが、(教員は)設備にあまり不満はないか。
 - ・ もちろん個々にはこうして欲しいとかあるとは思いますが、大きなものに関しては多分提案されているので、今のところ不満はないと思う。
 - ・ 目的積立金もいいのですが、活用される分は活用された方がいいのかなと思う。

経常収益の主な減少要因が交付金の減だそうだが、2年連続で減額となっているのか。

- ・ 毎年減らされている。
- ・ 今後の手立ては。
- ・ 医大であれば病院事業等の収入を上げる手立てもあるだろうが、本学ではそういうものがないので、極力節約した中で、教育・研究に重点的に使っていければと思っている。また、中期計画で学生寮も予定しており、こういったものに目的積立金を活用させていただきたいと考えている。

会津大自体が儲けようという訳ではなくて、なにか民間が投資できるような魅力、何かそういうアイデアがあってもいいのかもしれない。TLOみたいな組織を作るなどそんな仕組みがあったらいいなと思う。その具体的な一歩を作っていただければ、我々民間も一緒に入りやすい。

- ・ U B I C (産学イノベーションセンター) が何をするのか再定義して、何をやるのかを議論するのは非常に大事なことだと思う。どういうチームでそれを検討するか、そういうこともあるかと思う。落ち着いて議論する場があったらいいなと思う。

C 公立大学法人会津大学役員報酬規程、職員給与規程等の一部改正について

岡部総務予算課長から公立大学法人会津大学役員報酬規程、職員給与規程等の一部改正について説明を行った。特段の質疑はなく、原案どおり役員会に提案することが了承された。

平成 21 年度第 2 回公立大学法人会津大学経営審議会議事概要

- 1 日時 平成 21 年 10 月 7 日 (水) 13:30 ~ 14:07
- 2 場所 会津大学管理棟 3 階 大会議室
- 3 出席者
委員 7 名 : (学内委員) 角山理事長、ミレンコフ副理事長、黒田理事、牧田理事、菅野理事
(学外委員) 酒井委員、宮澤委員
監事 1 名 : 栗城監事
事務局職員
- 4 議事録署名人 黒田委員、菅野委員
- 5 議事

< 議題 >

- A 平成 22 年度予算編成方針 (案) について
菅野理事が平成 22 年度予算編成方針 (案) について説明を行った。以下の意見交換等を行った後、原案どおり了承された。

(意見等)

コンピュータシステムを他の大学と共有して使用するということは考えられないか。

- ・ 実験的なことも行っており、なかなか難しい。また、コストだけ考えるとその方が安いと思うが、コンピュータを核にしている大学が、コンピュータシステムを外に出していいものかという思いもある。

会津大学の将来の姿を明確にした上で、予算を精査する必要がある。

< 報告事項 >

- B 平成 20 年度決算における剰余金について
菅野理事が平成 20 年度決算における剰余金について説明を行った。以下の意見交換等を行った。

(意見等)

短期大学部の教育施設をこちら側 (四年制大学側) に持ってきて、なるべく街中に人が住むようにあちら (短期大学部) の敷地半分に寮を建て、残り半分の敷地を売って大学の資産にするというようなことは考えられないか。

- ・ 四大、短大、場合によっては中高一貫校にも声を掛けて、教育の地であった会津をどうやって支えていくか。そういう未来からの発想が確かに必要なと思う。

平成 21 年度第 3 回公立大学法人会津大学経営審議会議事概要

- 1 日時 平成 22 年 3 月 3 日 (水) 13 : 00 ~ 14 : 35
- 2 場所 会津大学管理棟 3 階 大会議室
- 3 出席者
委員 9 名 : (学内委員) 角山理事長、ミレンコフ副理事長、黒田理事、牧田理事、菅野理事
(学外委員) 酒井委員、杉原委員、瀬谷委員、宮澤委員
事務局職員
- 4 議事録署名人 黒田委員、牧田委員
- 5 議事

<議題>

A 平成 22 年度予算案について

菅野理事が平成 22 年度予算案について説明を行った。以下の意見交換等を行った後、原案どおり了承された。

(意見等)

- アジア人材資金構想の補助金が減らされて、今いる留学生に問題は生じないのか。
 - ・ 今受け入れている学生は卒業まで問題は生じないが、この制度による新たな留学生は受け入れできなくなる。
- 新たに建設する学生寮に留学生枠をだいたい確保するとの説明があったが、留学生が来づらくなっている中で、寮の整備との整合性はどうか。
 - ・ アジア人材資金構想以外の一般の留学生は増える傾向にあるので、学生寮の半数は留学生用として使用したい。
- 大学は留学生をどの程度受け入れられる体制が整っているのか。
 - ・ 大学院は 1 学年 120 名が定員だが、現在いるのが 60 人くらいなので余裕はある。大学院を強化していけば教育と研究の両方に役に立つと思う。

<報告>

B (仮称) 会津大学修学支援宿泊施設 (学生寮) の設計概要について

菅野学生課長が(仮称)会津大学修学支援宿泊施設(学生寮)の設計概要について説明を行った。以下の意見交換等を行った。

(意見等)

- 入居は最長何年か。
 - ・ 原則として 1 年としたい。
- 広く利用していただくこともいいが、留学生や車いすの方のことを考慮すれば、最長 2 年とした方がいいのではないか。
 - ・ 今後、運用を考える中で検討していきたい。

6 その他

兼本学生部長（四大）及び石光学生部長（短期大学部）が「会津大学の昨今の状況」について説明を行った。以下の意見交換等を行った。

- 先生方が増えたというが、どの分野で増えたのか。
 - ・ 先端情報科学研究センターで増えている。

- 金融工学とかそういう領域の教授陣が十分ではないと思うが。
 - ・ この小さな大学でどこまでカバーするかということになると思う。